

国語

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「われはなかなか力があるな」

他の一人、——耳に巻煙草をはさんだ男も、こう良平をほめてくれた。

その内に線路のこうばいは、だんだん楽になりはじめた。「もうおさなくともよい」——良平は今にもいわれるかと内心気がかりでならなかった。が、若い二人の土工は、前よりも腰を起したぎり、黙々と車を押し続けていた。良平はとうとうこらえ切れずに、(1)おずおずこんな事をたずねて見た。

「いつまでもおしていい？」

「いいとも」

二人は同時に返事をした。良平は「2」だ」と思った。

五六町余り押し続けたら、線路はもう一度急こうばいになった。其処には両側の蜜柑畑に、黄色い実がいくつも日を受けている。

「登り路の方が好い、いつまでもおさせてくれるから」——良平はそんな事を考えながら、全身でトロッコをおすようにした。

問1 一線(1)「おずおず」とはおっかなびっくりして、しりごみしながら行動するさまをいいますが、良平は何をおそれていますか。これに対する答えをつぎのようにまとめたとき*にあてはまることばを本文中から10字でさがし、さいしょの5字をぬき出して答えなさい。

◎ 土工たちからトロッコを*といわれること。

--	--	--	--	--

問2 2にあてはまることばを、次の中から1つえらび、記号で答えなさい。

- ア まぬけな人たち イ やさしい人たち
ウ こわい人たち エ かんたんな人たち

問3 本文中で良平のよろこびの気持ちをあらわすものとしてえがかれているものは何ですか。正しいものを次の中から1つえらび、記号で答えなさい。

- ア 巻煙草 イ 線路 ウ 黄色い実



国語

(解答)

問1 もうおさな 問2 イ 問3 ウ

(解説)

問1 ——線(1)の2行前に「『もうおさなくともよい』——良平は今にもいわれるかと内心気がかりでならなかった」とあることから、良平がおそれていたのは、「もうトロッコをおさなくていいよ」といわれることだとわかります。よって、**＊**には「もうおさなくともよい」が10字ぴったりで、あてはまりますから、この部分のさいしょの5字「もうおさな」が正解になります。

問2 しりごみしながらの^{しつもん}質問に対して「いいとも」とよい返事があったので、良平はうれしい気持ちでいっぱいです。とすると、**2**には、二人の土工をいい人だと思っていることばがあてはまることになります。よって、正解はイです。

問3 本文中で良平がよろこんだ気持ちになるのは、「いいとも」という返事を聞いたあとのことです。これよりあとにでてくるものは、ウですね。黄色い実が日を受けてかがやいている明るい^{じょうけい}情景が、良平のうきうきした気分を表しています。このように、ある情景が、登場人物の気持ちを表していることがあることを知りましょう。また、「黄色」は、しあわせをあらわす色として登場することが多い色です。おぼえておきましょう。

